

産業機械事業

Web *詳細はWebをご参照ください。

製品の高付加価値化や差別化戦略、SCMの最適化を進め、海外展開の加速による事業拡大を目指すとともに、コスト削減への取り組みを強化し、収益力の向上に注力していきます。

ビジネス領域

産業機械事業は、食品・薬品・化粧品産業向けの生産管理・品質保証システムを事業分野とし、食品中に混入した異物を検出するX線異物検出機、金属検出機や、製造ラインで高速高精度な計量を行う重量選別機などを主力製品としています。85%が食品分野向けビジネスであり、景気動向による需要の変動が比

較的小さな市場で安定的な事業展開を行っています。

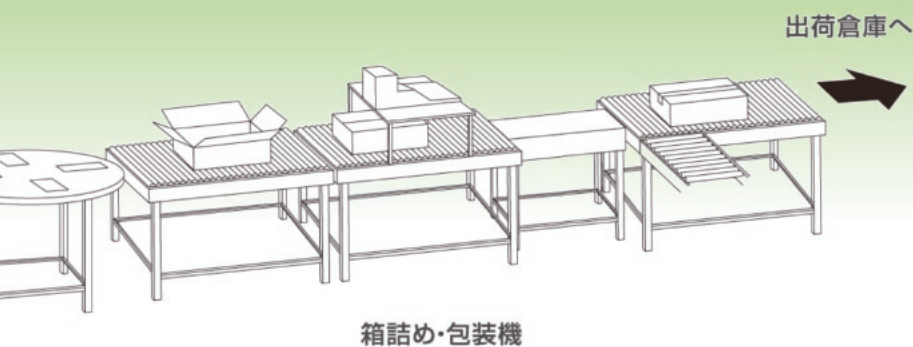
地域別では日本市場でのビジネスが70%を占めていますが、新興国での食品に対する安全意識・欧米での高精度な品質検査需要の高まりを受け、海外ビジネスが拡大しています。

産業機械事業の戦略

1. ASEAN、中国、インド市場でのビジネス拡大

- タイの事業体制の強化
- 低価格の金属検出機／重量選別機投入
- 日本向け加工食品市場でのシェア拡大
- 東南アジア、インド市場での自国内消費食品市場の深耕強化

2. 食品、薬化粧品市場向けの新たな品質保証ソリューションの開発



箱詰め・包装機

2011年3月期(当期)のレビュー

当期は、日本市場では食品メーカーの投資に伸びが見られなかったものの、アジアや北米を中心に海外市場でのX線異物検出機、重量選別機の受注が堅調に推移しました。この結果、売上高は123億25百万円

(前期比5.9%増)、営業利益は6億59百万円(前期比8.0%増)となりました。継続的に取り組んでいるコスト削減の効果が表れ、収益力は着実に向上しています。

2012年3月期(今期)の事業環境と取り組み

成長が見込まれる海外市場でのビジネス拡大に向け、新技術を活用し検出精度を飛躍的に高めたX線異物検出機などの高付加価値製品の投入や、タイ現地法人を核とした現地生産・販売体制の拡充を推進し、グ

ローバル市場でのシェア向上を目指します。また、今期から精密計測事業を統合し、センサー技術などの融合によるシナジーで新ソリューションの開発を推進します。

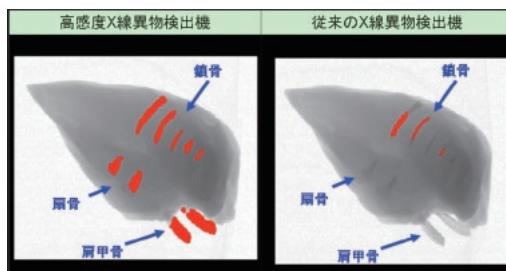
中期経営計画GLP2012の達成に向かって

GLP2012では、2013年3月期に売上高145億円、営業利益11億円を目標としています。重点課題として、アジア市場を中心とする海外ビジネスの拡大(目標売上比率33%)、食品、薬化学品市場向けの新たな品質保証ソリューションの開発を掲げています。海外でのさらなるビジネス拡大を目指すためには、現地での設計、生産、サポートなど、顧客の要望を現地で実現

することが重要です。目標の達成に向け、顧客ニーズへの対応力を高め、海外ビジネス展開を加速するとともに、コスト削減、サプライチェーン最適化の取り組みを継続し、収益力の向上を図ります。さらに、精密計測事業とのシナジーによる新ソリューションの開発を進め、既存市場への深耕と新市場の開拓によるビジネスの拡大を目指します。



KD7416DWH



デュアルエネルギーセンサーを搭載した高感度X線異物検出機